

(様式2)

R2 学校関係者評価報告書

(愛媛県立吉田高等学校)

学校番号(42)

評価実施日	令和3年3月8日(月)		
委員	氏名	所属等	備考
	川上 真二	元PTA会長	
	丸尾 富士夫	元県立学校教員	
	牛川 頼明	吉田中学校長	
	高山 久詞	PTA会長	
	川邊 りつ子	PTA副会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<ul style="list-style-type: none">大変落ち着いた学校生活が送れているように感じる。地域に根差した活動が好感を持たれている。新型コロナウイルス感染症対策については、できることをされてきたと思う。「E」評価となっている「福祉施設等での活動」はやむを得ない。人権・同和教育の取組に関心をもって見たが研修と実践が積み重ねられてきている。先生方の変容は必ず生徒の心に響くと思うので継続を期待している。交通事故は「0」を目指してほしい。読書の貸出冊数は一人当たり2冊以上の目標を達成しているが、蔵書も多い図書館なので目標を高くしてもよいのではないか。「よしこうLibrary」もいい。検定取得では学年が上がるにつれて取得率が下がっている。モチベーションを高められるよう指導していただきたい。生徒一人一人に応じた進路指導の成果が評価に表れていた。	<ul style="list-style-type: none">交通事故では、自転車通学生の関係した事故が発生しています。特に三間から吉田に坂を下るときに狭い道での車との接触、転倒が起きています。幸い、大きなけがにはいたっていませんが、命にかかわることですので、今後とも交通安全指導を徹底してまいります。図書貸出冊数については、「朝の読書」の時間を設けたり、「総合的な探究の時間」などの授業で活用したりしています。目標の「2冊」に対して「2.03冊」とやや上回ることができましたが、進路面での活用や、読書や蔵書に関する啓発活動をさらに行い、上昇傾向が見えてきた段階で目標を「3冊」「4冊」と上げていきたいと考えています。検定については、上位になるほど困難なものになり、簡単に取得できなくなります。今年度については4月から5月にかけて自宅学習の期間があり、ものに触れる機会が持てなかったことは大きく影響しているとも考えていますが、困難なことがらに挑戦する姿勢を持つことは大事にさせ、来年度の検定合格者を増やせるよう努力いたします。